

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------|------------------------|-----------------------------------|---|---|
| 家計 動向 関連 | 良く なっている | 一般小売店〔衣 料品・雑貨〕 （経営者） | 販売量の動き | ・前年比105%であるが、直近3か月は前年比がマイ ナスだったので、それからすれば良い結果と判断して いる。新デザインの商品が好評なため9月も前年以上 の売上が期待できる。 |
| | | 観光型ホテル （商品企画担 当） | 販売量の動き | ・8月は年間で一番のピークである。今年は沖縄本島 に関して言えば、台風の影響もなく前年比5%増であ る。 |
| | | その他のサービ ス〔レンタ カー〕（営業担 当） | 来客数の動き | ・観光シーズンのピークを迎えて好調に推移してい る。前年比で8%ほどアップしている。 |
| | やや良く なっている | 百貨店（担当 者） | 来客数の動き | ・昨年と比較して、台風の影響を受けていない。先月 に引き続き中元ギフトが好調に推移し、期間を通して 大幅な増加となっている。また懸念された主力衣料も 暑さに影響され、夏物最終処分等のセール企画が好調 に推移している。衣料計にて前年比+8%、客数+ 7%と食品同様に大幅な増加である。最終的には一部 高級宝飾品の不振はあるが、店舗全体にて+4~5% の見込みとなる。 |
| | | コンビニ（経営 者） | 来客数の動き | ・家族連れの観光客が多く、夜間のおにぎりやデザー トの購入が増えている。また若い人の来客も多い。 |
| | | その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者） | 来客数の動き | ・今月の10日前後までは、例年に比べて入客が10% 減、20日までで例年並み、20日以降観光客の入客が多 くなり、1日当たり例年の130%増して推移してい る。 |
| | | 観光型ホテル （営業担当） | 来客数の動き | ・今年は台風の影響が少なく、単価のアップはないが 客数が増加している。 |
| | 変わらない | スーパー（企画 担当） | お客様の様子 | ・客数が前年比109%と大幅に伸びて売上高の底上げ に寄与している。旧盆商戦も期間中の売上高が前年比 110%前後と好調である。 |
| | | 乗用車販売店 （経理担当） | 販売量の動き | ・レンタカー、小型車ならびに軽自動車は好調である が、中型、高級車を扱う販売店は伸び悩み傾向であ る。 |
| | | 観光名所（職 員） | 来客数の動き | ・施設利用者数は、3か月前の5月には前年同月比 102.3%で、今月は8月28日現在で104%で前年同月を 上回り沖縄観光は順調に推移している。来園者は、家 族連れを中心にカップル、友人同士が多い。 |
| やや悪く なっている | コンビニ（エリ ア担当） | お客様の様子 | ・新規出店店舗でも、開店した週を過ぎると普通の客 数に落ちついてしまう。今までなら、約2週間は好調 だったが、新しいものへの飽きが早くなっている。 | |
| | コンビニ（経営 者） | 販売量の動き | ・昨年は台風が多かったのでスーパーが閉まり、コン ビニの売上が伸びていた。今年は4月に近くにスー パーがオープンし、それで売上はマイナス4から5% の状況である。 | |
| | 住宅販売会社 （従業員） | 販売量の動き | ・前年同期累計販売棟数はマイナス25%と不調であ る。マーケット全体として、新築着工の戸建て比率が 下がっている。 | |
| 悪く なっている | その他専門店 〔書籍〕（店 長） | 競争相手の様子 | ・今年に入ってからすでに同業者が3件ほど倒産、ある いは閉店している。大型店の出店が原因なのか、単純に 本離れが原因なのかは不明である。今後も倒産や閉店 する書店は増えていく。 | |
| | 住宅販売会社 （経営者） | 競争相手の様子 | ・競争相手の会社が次々倒産しており、倒産予備軍が 目白押しである。したがって、景気はこれまでになく 厳しい。 | |
| 企業 動向 関連 | 良く なっている | - | - | - |
| | やや良く なっている | 建設業（経営 者） | 受注価格や販売 価格の動き | ・1軒当たりの受注金額は新築、リフォームともに増 えている。 |
| | | 輸送業（総務担 当） | 受注量や販売量 の動き | ・お盆シーズンで物量が増加し、季節変動売上ではあ るが前年より伸びている。更に去年は冷夏で売上が減 少したが、今年は猛暑で飲料関係が特に増加した。 |
| 不動産業（従業 員） | 受注量や販売量 の動き | ・選挙事務所などの短期契約が複数ある。 | | |

| | | | | |
|----------|-----------|----------------|--------------|--|
| | 変わらない | 通信業（営業担当） | 受注価格や販売価格の動き | ・法人向け通信サービスは、広帯域低価格へのシフトが続いていて、受注量増加イコール売上増にならない。個人向けの光インターネットサービスは、光ファイバー回線の認知度アップが貢献して受注増でシフトしているが、競争が激しく利益の純増に至っていない。 |
| | | 不動産業（支店長） | 受注量や販売量の動き | ・問い合わせや成約件数が横ばいの状態である。 |
| | やや悪くなっている | | | |
| | 悪くなっている | - | - | - |
| 雇用 関連 | 良くなっている | - | - | - |
| | やや良くなっている | 人材派遣会社（経営者） | 求人数の動き | ・派遣依頼が従来のOA操作・経理関係等以外の幅広い業種から来ている。また追加依頼や紹介予定派遣も多く、人材の確保ができれば雇用に結び付く。 |
| | | 学校〔専門学校〕（就職担当） | 求人数の動き | ・先日、沖縄コンベンションセンターにおいて県内企業を中心とした企業説明会が開催され、大勢の学生でにぎわった。県内企業の積極的な求人活動が伺われる。またそれに伴い求人数も増加している。 |
| | 変わらない | 職業安定所（職員） | 求人数の動き | ・4月と比較すると、新規求人数は12.8%減の4,291人である。一般求人は14.6%減で2,996人（構成比80.1%）である。パート求人は4.8%減の746人（構成比19.9%）である。7月の新規求人は建設、運輸、金融・保険、不動産で増加し、情報通信、卸売・小売、飲食店・宿泊、医療福祉、サービスで減少した。特に運輸、情報通信での減少が目立つ。有効求人倍率は0.05ポイント低下し0.49倍である。就職件数は13.0%増加している。 |
| | | 学校〔大学〕（就職担当） | 採用者数の動き | ・県内大手あるいは公務員、教員等の採用があったので、やや中だるみの状況である。 |
| | やや悪くなっている | - | - | - |
| 悪くなっている | - | - | - | |